なごみ伝言板

作・南　久美子

【ハナミズキ】

子育てナンバーワンのまちへ

石井市長の現地・現場リポート

美しく品格のあるまちを目指して

今春41名採用　新人保育士の働きぶりを確認

本市は、これまで子育て支援に重点を置いたまちづくりを進め、子育て世代の転入が続く中でも、年度当初の待機児童ゼロを実現してきました。しかし、昨年4月に保育士不足により140人の待機児童が発生し、働く保護者の皆さんに大変ご不便をおかけする事態となり、私自身も非常に悔しい思いをしました。

保育ニーズに応えるためには、いかに優秀な人材を確保するかが大きな課題です。そのため、市では保育士の就職フェアを開いたり、市の財政に影響を及ぼさないよう期限付きの正規職員を採用したりして、41名の保育士を確保しました。その結果、今年4月には再び待機児童をゼロにすることができました。

4月23日、新人保育士9名が勤務する三山木保育所を訪ね、保育士の働きぶりと保育現場の環境を確認しました。「一日も早く仕事を覚えて、先輩たちのように優しく子どもを見守れるようになりたい」という意欲に満ちた保育士の姿と、新しい友達と先生に囲まれ元気に過ごす子どもたちの笑顔を見て、大変心強く感じました。

今後も、本市では子育て世代の増加が見込まれます。こうした保育ニーズに応え、未来の京田辺を担う子どもたちを育むため、社会福祉法人による新たな「認定こども園」などの整備を支援するとともに、市立保育所との連携を深めることで、子育てナンバーワンのまちと評価いただけるまちづくりに取り組んでまいります。

個性キラリ☆自分流

㉙介護で社会貢献や地域貢献を

小規模多機能型居宅介護ふれあいの里京田辺　介護士の前田晃徳さん（42）

貴重なオフの日は野球観戦や映画鑑賞などを楽しむという前田さん。「社会貢献、地域社会への貢献」をモットーに、日々の業務に励んでいます。

男女共同参画の視点から、さまざまな分野で活躍する人を紹介しています。今号は、介護士として活躍する男性に話を伺いました。

―介護士を目指したきっかけは

阪神淡路大震災でボランティアを経験し、命の尊さやはかなさ、死生観について考えるようになりました。そこで人と人とのつながりの大切さを感じ、もともと人が好きだったこともあって、微力でも手を差し伸べられたらという思いから、社会福祉が学べる大学に進学しました。

―普段の仕事は

デイサービス・訪問・宿泊など、すべての支援に携わっています。午前中は利用者の体調確認やリハビリ体操、入浴介助など、午後からはレクリエーションや外出をすることが多いです。訪問支援では、家事の支援など、本人やご家族の困り事をサポートしています。

―介護職に就く男性が増えているそうですね

男性介護士は増えていますが、業界全体ではまだ2割程度です。すべての介護士が介護技術を身に付けていますが、女性が介助できない場面で男性が助けることや、その逆もあります。また、利用者の中には性別による苦手意識を持っている人もいるので、介護する側・される側の双方にとって男女の介護士がいることはメリットだと思います。

―介護士になって良かったこと・苦労したことは

良かったことは、利用者の命を救えたことです。夜間の見回りで心肺停止状態になっており、すぐに心肺蘇生をしながら大声で別の職員を呼び、救急隊へ引き継ぐことができました。自分の判断で助けられたことは本当にうれしかったです。

苦労するのは、利用者の思いを酌むことができない時です。利用者の気持ちに寄り添い、何を求めているのか想像するのですが、怒られた時もありました。何度経験してもつらいものですが、ちょっとしたことで「ありがとう」と言われるとうれしくなります。この繰り返しですね。

―家族の反応は

両親は介護士になることに賛成してくれました。誰もができる仕事ではないので、介護という仕事で社会貢献できることを家族は喜んでくれていると思います。

―今後の抱負を教えてください

介護士はなくてはならない、誇りある仕事だと実感しています。同僚も含め、介護に携わる人には敬意を感じています。利用者との関わりやふれあいの中で感じたことを大切にしながら、自分に何ができるのか研究心と向上心を持って仕事に向き合いたいです。

「お互いさま」と「おかげさま」の気持ちを忘れないという前田さん。その人柄は周囲の人の活力になるのではないでしょうか。

問合せ先＝市民参画課（☎64・1314）

ご用心！くらしの中の事故

～その製品、安全に使えてますか？～

全国では、身近な製品による事故が多発しています。今号から、悪質商法の手口を紹介する「ちょっと待った！その契約」と、製品事故情報をお知らせする「ご用心！くらしの中の事故」を毎月1日号で交互にお知らせします。

問合せ先＝消費生活センター（産業振興課内、☎64-1240〈平日午前9時～午後4時。正午～午後1時を除く〉）

シリーズ①何でも口に入れる子どもの事故に注意！

子どもの周囲は危険がいっぱい！特に乳幼児は、何でも口に入れようとするので注意が必要です。

【事例①】

ボタン電池を飲み込んだ！

リモコン・キッチンタイマー・体温計などに使用されているボタン電池は、飲み込むと非常に危険です。電気分解で作られたアルカリ性の液体が、食道・胃などの消化管を溶かしてしまいます。事故を防ぐために、次の点に気を付けましょう。

▼落としたはずみに電池が飛び出ることがありますので、ボタン電池を使用した製品は子どもの手の届かない場所に保管しましょう。

▼電池を飲み込んだときは、すぐに医師の診察を受けましょう。

【事例②】

パック型液体洗剤をかじってしまった！

洗濯用のパック型液体洗剤のフィルムは、水に溶けやすい素材でできています。子どもが握ったりかんだりしているうちにフィルムが破れて中身が流れ出し、口や目に入る事故が発生しています。事故を防ぐために、次の点に気を付けましょう。

▼洗剤は子どもの手の届かない場所に保管しましょう。

▼洗剤を飲んでしまったときは、口をすすいで水や牛乳を少量飲ませ、医師の診察を受けましょう。

▼目に入ったときは、すぐに水で洗い流して医師の診察を受けましょう。

▼皮膚に付いたら、すぐに大量の流水で洗いましょう。付着した衣服は脱いでください。

PRESENT Quiz クイズ

ヒントは広報紙の中に!!

TOJ京都ステージ5月●日

特産
京田辺玉露
（新茶）

3名様

はがきに次の質問の回答と郵便番号・住所・氏名・年齢・日中連絡がつく電話番号を書いて郵送してください。応募は広報紙のほか、京田辺市eモニター（たなモニ）でも受け付けています。

①「○」に入るクイズの答え
②興味を持った記事と感想
③分かりにくかった記事
④今後取り上げてほしい企画やご意見など

正解者の中から抽選で3名様に、京田辺玉露（新茶）をプレゼントします。

個人情報は賞品の発送のみに使用します。また、いただいた意見や感想は広報紙などで紹介する場合があります。なお、ご意見に対する個別回答はできませんのでご了承ください。

当選発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

しめきり＝5月15日㈫（当日消印有効）

応募・問合せ先＝秘書広報課（〒610-0393〈住所不要〉、☎64-1320）

先月号の答え：品「格」ある都市へ　応募者数は、52人でした。